ご紹介

「コレクタブルズ」第 8 弾
“ルクルト”

博物館の展示にふさわしい 9 点の作品をニューヨークで発表

概要：

- **コレクタブルズ**：11 月 6 日から 11 月 20 日まで、コレクター垂涎のコレクション作品を紹介し、購入の機会を提供するプログラムをニューヨークの旗艦店にて開催
- **特別なルクルト カプセルコレクション**：1933 年から 1981 年にかけてアメリカ市場向けに特別に製造された希少価値の高い 9 点のコレクション
- **博物館の展示にふさわしい作品**：マニュファクチュール工房の修復工房に所属する専属の時計職人たちが丹念に修復したタイムピースの数々を通じて、ジャガー・ルクルトのアメリカにおける歴史の物語を探求します

ジャガー・ルクルトは、博物館の展示にふさわしいタイムピース 9 点を厳選した「コレクタブルズ」カプセルコレクション第 8 弾を発表します。本コレクションは 11 月 6 日にニューヨークで公開され、世界中のコレクターの皆様に購入の機会が提供されます。今回、ニューヨークで開催される第 2 回「コレクタブルズ」展は、アメリカ合衆国独立宣言の 250 周年と時期を同じくして開催されます。

その機会に敬意を表し、ジャガー・ルクルトはアーカイブの一部を公開し、アメリカで販売されたタイムピースにまつわる魅力的な物語を紐解きます。今回初めて、グランドメゾンは 1930 年代半ばにまで遡るアメリカとの長年にわたる絆の証として、その歴史の一章をひとつのコレクションにまとめました。お求めいただけるカプセルコレクションの中心となるのは、いずれもアメリカ市場向けに特別に製作されたウォッチのセレクションです。

「コレクタブルズ」プログラム

ジャガー・ルクルト独自のプログラム「コレクタブルズ」は、20 世紀半ばに生まれた博物館の展示にふさわしい希少なタイムピースを収集、修復し、提供することを目的としています。約 200 年にわたる創造性を称え、ウォッチメイキングの「黄金期」と言われる 1920 年代半ばから 1970 年代に焦点を当て、デュオプランやレベルソ、ジオフィジック、フューチャーマティック、メモボックス・ポラリスなど 17 の象徴的なモデルを通してグランドメゾンの伝統を際立たせます。特別なカプセルコレクションとして世界に発表されるこれらのタイムピースは、その物語のこれからを見守るようコレク

ターたちを誘います。こうした伝統への取り組みは、ジャガー・ルクルトが有する数少ない工房の 1 つである修復専門の工房の存在によって実現しています。ここでは、10 人の熟練時計職人がそれぞれの作品を丹念に修復します。ムーブメントの整備や手作業での部品の再組み立てなど、ストックから歴史的部品を調達しながら、オリジナルの個性や風合いを守ります。それぞれのタイムピースは、修復され、博物館水準の認証を得ることで、ジュウ渓谷で始まった物語を紡ぎ続ける準備が整います。

歴史的なアメリカ向けのシグネチャーモデル

独特の名称：アメリカでは、ジャガー・ルクルトには別の名称がありました。1920 年代後半には、グランドメゾンはすでにジャガーという名称でアメリカでの確固たる地位を築いていました。とりわけ精密機器で実績を重ね、1926 年にはニューヨークで*ジャガー社*が設立されました。しかし、マニュファクチュール工房がアメリカ全土へと事業を拡大するにつれ、その時計には別の名称が刻まれるようになりました。ルクルトです。1936 年、*LeCoultre S.H. of America*（米国ルクルト社）がニューヨークにオフィスを開設し、ルクルトの時計とダイヤルは、アメリカ市場におけるグランドメゾンの象徴となりました。



ニューヨークオフィス開設記念小冊子 1/3 ページ、1936 年

アメリカ市場の実情に合わせたデザイン：当時のアメリカは保護政策が厳しい市場であり、時計の価格や仕様に応じて輸入関税が引き上げられる可能性がありました。この制度に対応するため、ルクルトの時計職人たちは、アメリカの要件に合わせてアプローチを調整しました。完成品としての時計ではなく、スイス製のムーブメントは、それぞれに対応するダイヤルや針とともに大西洋を渡り、アメリカでの組み立ての準備が整えられた状態で運ばれました。ケースは国内で製造され、時計は現地で組み立て、調整、仕上げが行われました。この関税制度に対する解決策は、さりげない痕跡を残しました。アメリカ市場向けのムーブメントは、多くの場合に 17 石の宝石があしらわれ、「unadjusted（未調整）」の刻印と税関コード「VXN」が施されました。

アメリカ仕様のケース、アメリカらしい個性：当初は輸入規制への対応策として始まったアプローチにより、一層の創造性を発揮する道が開かれ、ケースはアメリカ国内での製造に加え、アメリカ市場向けに特化して設計されました。多くの場合、ゴールドフィルド製または 14K ゴールド製で作られたケースは、ヨーロッパの同種の製品とは異なり、新たなプロポーション、幾何学的形状、そしてフォルムを取り入れていました。1950 年代初頭のジャガー・ルクルト パワーマティック・ノーチラスなどのモデルは、際立つアメリカのデザイン言語を反映していました。その影響は、現地の組織がアメリカ流の嗜好を深く理解し、その期待をマニュファクチュール工房に伝えるにつれ、次第に色濃くなっていきました。市場のニーズに応え、洗練されたドレスウォッチから、メモボックス・ディープシーやマスター・マリナー・ディープシー バラクーダ、メモボックス・ポラリスなどの大胆なデザインまで、アメリカ特有のリファレンスやコレクションが登場しました。現地の規制への対応として始まったものが、やがてジャガー・ルクルトの創造性を独自に表現する手法へと発展しました。



ルクルト 1948 年、広告

アメリカ文化におけるルクルト：ルクルトはアメリカ文化に深く根付きました。軍の司令官からジャズ、ハリウッド、モーターレーシング界、宇宙時代から月を目指した世代に至るまで、ルクルトは、現代のアメリカを定義する存在となった人々と共に歩んできました。



アメリカの広告、ルクルト メモボックス 1969 年

ルクルトの章の終わり：1970 年代になると、ルクルトの時計が持つ独自のアイデンティティは薄れ始め、ジャガー・ルクルトという名称がマニュファクチュール工房の唯一の世界的なブランド名として定着していきました。最後に発表されたルクルトのダイヤルは 1970 年代後半に遡り、その後、ジャガー・ルクルトがアメリカや世界中で統一されたアイデンティティとして確立されたことを示しています。　　ジャガー・ルクルト

博物館の展示にふさわしいタイムピース 9 点

「コレクタブルズ」カプセルコレクション第 8 弾のために厳選されたタイムピースは、1930 年代から 1980 年代に至るまで、あらゆる時代でマニュファクチュール工房が成し遂げてきた技術的革新と美的革新を網羅しています。一堂に会した作品が物語るのは、時計づくりの歴史における驚くべき一章です。ジャガー・ルクルトは数十年にわたり、単にアメリカ市場向けの時計を製作するにとどまらず、時計デザインそのものの進化を形作る一翼を担いました。

希少な **1933 年製の「レベルソ」** は、特徴的なチョコレートブラウンの色合いをしており、レベルソ専用に開発された初の自社製ムーブメントであるマニュファクチュール工房のキャリバー410 を搭載しています。1933 年に発表されたこのキャリバーは、6 時位置のスモールセコンド表示の先駆けとなりました。このタイムピースは、かつて特別注文のみで入手が可能だった極めて希少なチョコレートブラウンのダイヤルが特徴です。 初代レベルソモデルのプロポーションを踏襲し、コントラストの効いたステンレススチール製ケースと組み合わされた時計は、光を美しく捉え、反射します。深みのあるブラウンの色調は、手作業で製作されたブラウンのカーフスキン製ストラップにも反映されています。



1942 年に発表されたトリプルカレンダーは、成長を続ける腕時計業界のために特別に設計され、日付、曜日、月を表示します。実用性への配慮を極めてエレガントに表現した、見識のある男性のためのモデルです。自社の時計を製作するだけでなく、ジャガー・ルクルトは、これらのキャリバーを時計業界の著名なブランド数社に供給していました。量産型腕時計のために考案された初期の複雑機構の一つとして、マニュファクチュール工房と時計づくりの歴史の両方に永く語り継がれる足跡を残しました。実用的な複雑機構の最高峰といえる存在です。



1947 年製の「トリプルカレンダー」は、際立つ素材の組み合わせが特徴です。 このタイムピースは、ステンレススチール製ケースに 18K ピンクゴールド製ベゼル、コパーカラーダイヤル、そして手作業でグレイン仕上げが施されたブラウンのカーフスキン製ストラップを組み合わせています。これらの要素が相まって、温かみのある色調の独特な調和を生み出しています。33mm のケースにはキャリバー494 が搭載され、スモールセコンドカウンターにムーンフェイズ表示が組み込まれています。

カプセルコレクションの注目作品は、非常に個性的で極めて希少な **1952 年頃に製作された「トリプルカレンダー リファレンス 2726」**です。グランドメゾンが従来のラウンド型ではなく、長方形のケースを採用して製造した初のトリプルカレンダーモデルです。アワーマーカーはケースに彫り込まれ、ブラックのラッカー塗装が施されています。ダイヤルには大胆なブルーのデイトマーカーが際立ち、特に希少な 18K イエローゴールド製ケースには、手作業で製作されたブラウンのカーフスキン製ストラップが組み合わされています。このタイムピースには、マニュファクチュール工房が開発した第 3 世代のトリプルカレンダー ムーブメントであるキャリバー484 が搭載されています。このモデルは 1949 年、前年に逝去したジャック＝ダヴィド・ルクルトに敬意を表した追悼モデルとして発表されました。彼はマニュファクチュール工房の歴史において極めて重要な人物であり、その発展と国際的な拡大において決定的な役割を果たしました。





トリプルカレンダーの抜粋、ルクルト カタログ1952 年

1937 年、ジャック＝ダヴィド・ルクルトはエドモンド・ジャガーと協定を結び、両者の名を一つにまとめ、今日のグランドメゾンの礎を築きました。ジャック＝ダヴィド・ルクルトは、マニュファクチュール工房のアメリカにおける地位を確立する上でも中心的な役割を果たしました。彼は、アメリカ市場向けに製造された最初のルクルト社製タイムピースの開発を指揮し、同地での事業拡大の初期段階においてマニュファクチュール工房を率いました。彼のリーダーシップのもと、グランドメゾンは、スリムな懐中時計「クトー」、レベルソ、デュオプラン、トリプルカレンダーなど、最も象徴的な作品の数々を生み出しました。

1949 年に発表されたパワーマティックは、自動巻腕時計の普及に貢献し、1950 年代を通じてジャガー・ルクルトのフラッグシップモデルとなりました。新たに特許を取得したキャリバー481 を搭載し、ダイヤルにパワーリザーブインジケーターを表示した初の腕時計でした。当初は単に「セルフワインディング」や「オートマティック」と呼ばれていましたが、まもなくアメリカで「パワーマティック」という名称が登場し、パワーリザーブの複雑機構を備えた時計のシリーズ全体にこの名称が採用されるようになりました。



1950 年頃に製作された「ジャガー・ルクルト **パワーマティック・ノーチラス**」は、イエローゴールドフィルド製ケースのベゼル上部まで伸びる独特なラグが特徴です。ルクルトが手掛けた数少ないパワーマティック ウォッチの一つであり、特に際立つラグを個性とするケースデザインにより、1950 年代に「ノーチラス」という名前で呼ばれるようになりました。これは、別の大手時計メーカーがこの名称を採用するよりもずっと前のことです。34.6mm のケースには、画期的なキャリバー481 が収められ、手作業で製作されたブラックのカーフスキン製ストラップが組み合わされています。

1952 年製の「パワーマティック」は、1950 年代初頭の美学を体現しています。ユニークなビートルラグは、ラグジュアリーなアクセントとして1940 年代のジュエリーデザインから受け継がれ、より華やかなスタイリングを好むアメリカ人の感性を表しています。この腕時計はキャリバー481 を搭載しています。初期のパワーマティックモデルを象徴する特徴的なブラックダイヤルとレッドのパワーリザーブインジケーターは、14K イエロ



ーゴールド製ケースや、手作業で製作されたブラックのカーフスキン製ストラップと力強いコントラストを成しています。



ジャガー・ルクルト ディープシーの技術冊子、1960 年

1950 年代、スキューバ技術の発展により、深海潜水が危険を伴う軍事活動から、特に北米においてますます人気を集めるレジャーへと変化していくなか、ジャガー・ルクルトは初のダイビングウォッチを開発し、その後 20 年間にわたってこの分野をさらに発展させていきました。堅牢な素材と視認性の高い表示を兼ね備えた初期のダイビングモデルは、一般市場向けに作られた「ツール」ウォッチの第一世代と見なすことができます。



代表的な作品である **1968 年製の「マスター・マリナー・ディープシー “バラクーダ”」**には、ブラックのラバーストラップが組み合わされています。ダイビング用ではないモデルの「マスター・マリナー」とは一線を画し、トノー型をしたスーパーコンプレッサータイプのステンレススチール製ケースとリューズで操作する回転式インナーベゼルを備えています。このタイムピースは、グランドメゾンのアメリカ向けカタログに「バラクーダ」として掲載されました。搭載されているムーブメントのキャリバー883 は、日付表示機能も備えています。



ブラックダイヤルとホワイトサブダイヤルがコントラストを成すのは、1970 年頃に製作された希少な**「シャーク・ディープシー」**です。名高いバルジュー キャリバー 72 のクロノグラフ ムーブメントとタキメータースケールを備え、ダイビングウォッチの機能を新たな次元へと引き上げています。1959 年以来、「シャーク・ディープシー」は、ダイビングウォッチに期待される機能をはるかに超える存在でした。グランドメゾンとして初の試みとなったクロノグラフを搭載しているだけでなく、3 種類の交換可能なベゼル（ダイビング用、テレメーター用、ワールドタイム用）が採用されました。今回販売されるこのバージョンでは、ダイビングベゼルの 1 種類のみを備えています。当時としては異例の大きさで製作された 40 mm のステンレススチール製ケースは、120m の防水性能を備え、モダンなスタイルを際立たせるように、ブラックのラバーストラップが装着されています。



1972 年製の「メモボックス・ポラリス II」は、鮮やかなデザインで多くの人に知られる存在になり、1970 年代のスタイルを象徴するようになりました。大きく彫刻的なケース、グラデーションブルーのダイヤル、そしてスカイブルーの回転式ベゼルが特徴です。オリジナルのステンレススチール製ブレスレットが装着されています。ダイバーに水面へ戻るよう音で知らせるメモボックスのアラーム機能に加え、このモデルにはキャリバー916 が搭載されました。ダイヤルに配された HPG（高精度保証）のロゴで識別できるジャガー・ルクルト初の自社製自動巻き高振動数ムーブメントは、毎時 28,800 振動（4 Hz）で鼓動します。発表当時、この細長いケースは 100m の防水性能を備えていました。



1981 年頃に製作された**「コイン・ウォッチ」**は、当時世界中を魅了した斬新なデザインの流行を象徴しています。この「シークレットウォッチ」は、空洞の 18K ゴールド製 10 米ドル硬貨の中に超薄型キャリバー839 を隠しています。30mm のケースは、厚さわずか 4.3mm です。コインの「表」側を開くとダイヤルが現れ、「裏」側はケースバックとなっています。3 時位置にあるプッシュボタンを押すとカバーが外れ、時計をヒンジで外側に開くことで、ムーブメントの巻き上げや時刻設定を行うことができます。このタイムピースには、手作業で製作されたバーガンディのカーフスキン製ストラップが装着されています。

「コレクタブルズ」プログラムを通じて提供されるすべてのタイムピースには、ジャガー・ルクルトのアーカイブからの抜粋と大型豪華本『コレクタブルズ』一冊が付属します。このリファレンスブックには、20 世紀半ばにジャガー・ルクルトが製作した 17 点の最も象徴的なモデルについて記されています。書籍では、これらのタイムピースを歴史的背景に照らして解説し、コレクターにとって欠かせない詳細な情報を提供しています。

それぞれの時計には、各モデルのスタイルを引き立てるために選ばれた新しいハンドメイドのレザーストラップが付属します（ただし、メタルブレスレットが装着されたモデルを除く）。また、提供が可能な場合には、オリジナルのボックスや書類に加え、オリジナルのストラップやブレスレットも含まれます。

ニューヨークにて「コレクタブルズ」カプセルコレクション第 8 弾の展示会を開催

「コレクタブルズ」カプセルコレクション第 8 弾が、2026 年 11 月 6 日から 20 日まで、マディソンアベニュー701 番地にあるジャガー・ルクルトの旗艦店で展示されます。営業時間は、月曜日から土曜日の午前 10 時から午後 6 時までです。「コレクタブルズ」のタイムピースは、11 月 6 日より全世界でこちらの公式サイトからご購入いただけます（jaeger-lecoultre.com）。また、公開期間中はニューヨークの旗艦店でも販売いたします。

書籍『コレクタブルズ』は、jaeger-lecoultre.com およびすべてのジャガー・ルクルト ブティックでもお求めいただけます。

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渇望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニュファクチュール工房は、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。82 の工房、108 の職人技、235 の技法（うち 69 は独自の技法）を結集したマニュファクチュール工房は、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。

---

jaeger-lecoultre.com